

1. ワークショップとは何か？

- 1-1. ワークショップの目的
- 1-2. ワークショップの特徴
- 1-3. ワークショップの進め方

2. 相原地区におけるワークショップの進め方

- 2-1. STEP1 課題の抽出・確認
- 2-2. 宿題 課題への対応方法の調査
- 2-3. STEP2 整備方針・要望の具体化
- 2-4. 当日タイムスケジュールのイメージ



1-1. ワークショップの目的

参加者が公平な立場で経験・意見・情報を共有し、
身体を動かしながら作業を行うことにより、
集団の相互作用による主体の意識化がなされ、
目標に向かって集団で創造する。



- 一方通行の講義方式ではない。
- 全員が参加！
 - ✓ 作業をする。
（話す、書く、手足を動かす）
 - ✓ 作業の成果を見せ合う。
 - ✓ 成果に対して議論し、評価する。
 - ✓ 評価から次の課題を得て、
ステップアップする。

1-2. ワークショップの特徴

身体性

身体の動きを伴った作業を積み重ねることにより、言葉だけで議論しているよりも理解が促進し、問題解決に迫ったり、創造的に提案ができる。



協働性

各自役割分担をして適材適所で協働の作業を行う。



創造性

集団内での相互作用によって、脳が刺激を受けて、発想が豊かに展開する。目標に向かって成果を積み重ねることが創造性にもつながる。



共有性

それぞれの考えや意見、情報を共有し、対立する価値観や考え方についても議論することにより、対立の論点を考え課題を解決する。



プロセス重視

目標に向かって合理的に進めるのではなく、問題の関連性を解き明かしながら、できるだけ多くの参加者が納得する形で総合的に課題を解決する。



資料：「ワークショップ 住民主体のまちづくりへの方法論」（木下勇）

1-3. ワークショップの進め方

目的の理解

ワークショップの目的（具体的な到達目標、ワークショップの成果がどのように活用されるのか）を理解する。

課題への取り組み

チーム（5～10人）に分かれ、設定された課題に沿って、各々の知識・経験等を活かし、意見を出し合いながら、創造的に課題に取り組む。

【取り組み方のポイント】

- 恥ずかしがらず、率直に発言する
- 相手の意見を否定せず、自分と違う意見も尊重する（チームで意見を一つにまとめる必要はない）

全体のまとめ

当日の成果を参加者全員で共有し、自分の考えを振り返ったり、新たなヒントを発見したりする。

今回は、資源ごみ処理施設の『**ごみ処理以外に施設に対して求める機能**』についてワークショップを開催します。

2. 相原地区におけるワークショップの進め方

<目的>

近隣住民の方々のご意見・ご要望を反映し、地域の魅力や価値をより一層高めるため『ごみ処理以外に施設に対して求める機能の整備』について協議します。

ワークショップでまとめた成果物等は、地区連絡会での検討も含め、今後の施設整備計画の検討時に使用します。

<テーマ>

- ・ **相原地区資源ごみ処理施設の整備において、ごみ処理以外に施設に対して求める機能を検討・整理します。**
- ・ **資源ごみ処理施設周辺の整備方針を検討します。**



2. 相原地区におけるワークショップ

<進め方>

【第1回】STEP1: 課題の抽出・確認と課題の重要度の整理

① 課題の抽出・確認

これまでに提示された意見・要望もふまえながら、ごみ処理以外に施設に対して求める機能や、計画地周辺の課題を抽出します。

⇒【成果物のイメージ】：施設および施設周辺の課題マップ

② 課題の重要度の整理

①で抽出した課題について、各々の重要度を検討し、特に地域にとって必要であると考えられるものをまとめます

⇒【成果物のイメージ】：整備重要度のまとめ表

【宿題】 課題への対応方法の検討

STEP1で整理した「課題」について、どのように対応するのが良いか、各自でイメージ写真や参考となる情報を収集します。

【第2回】STEP2: 施設周辺整備方針・要望の具体化

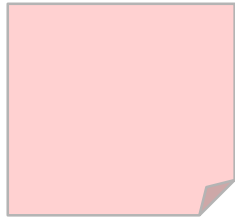
各自が収集したイメージ写真や参考情報を持ち寄り、「課題」への対応方法案をまとめ、要望をより一層具体化します。

⇒【成果物のイメージ】：課題へのアクションプラン

2-1. STEP.1 ① 課題の抽出・確認

〈課題の抽出〉

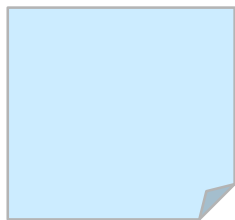
- ・・・チームのメンバーと話し合いながら、参加者それぞれが付箋紙に、施設や施設周辺の課題や整備したいものを書き出します。



・・・【課題・問題】ピンク

資源ごみ処理施設の計画地やその周辺で課題・問題であると考えていること

自転車で通るには危ない道
で困っているよ！



・・・【施設や施設周辺に整備したいもの】ブルー

今後、資源ごみ処理施設の整備とあわせて施設内や施設周辺に整備したいもの

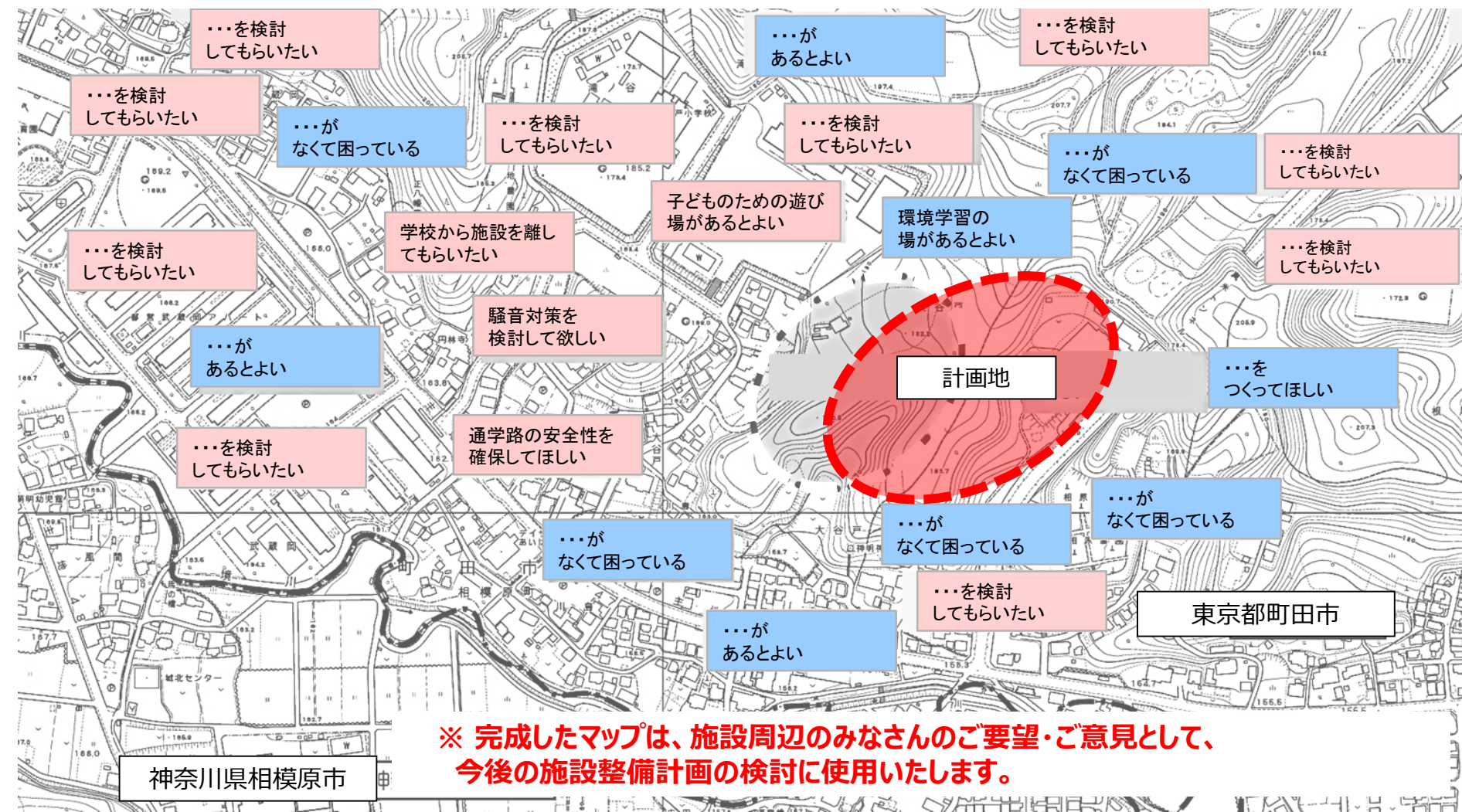
施設内には環境学習できる
展示や、自然と触れ合える
公園をつかって欲しいな



2-1. STEP.1 ① 課題の抽出・確認

<施設および施設周辺の課題マップの作成>

- ・・・チームごとに、参加者が白地図に、付箋紙を貼って作成します。
(参考として、会場にこれまでに頂いた意見・要望を掲載した地図を掲示します。)



2-1. STEP.1 ② 課題の重要度の整理

<課題の重要度のまとめ表 イメージ>

・・・①で抽出・確認された課題について、チームごとに重要度のまとめ表を作成します。
 特に重要度が高く、短期で対応したい課題（複数可）については、STEP2で重点的に具体的な対応策（＝アクションプラン）を検討する項目として、抽出します。

対応時期	短期	中期～長期	
重要度	<div style="border: 1px dashed red; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>「通学路の安全性確保」</p> <p>「騒音防止等環境への対策」</p> <p>「公園や運動施設等、地域の憩いの場」</p> </div>	<p>「施設周辺道路の整備（ガードレール設置、自転車通行の安全対策など）」</p>	<p>「資源ごみ処理施設の整備・運営に関する近隣住民との協議の場の設置」</p> <p>「リサイクルに関する啓発活動」</p>

高

アクションプランを検討する候補は、このゾーンに分類される課題

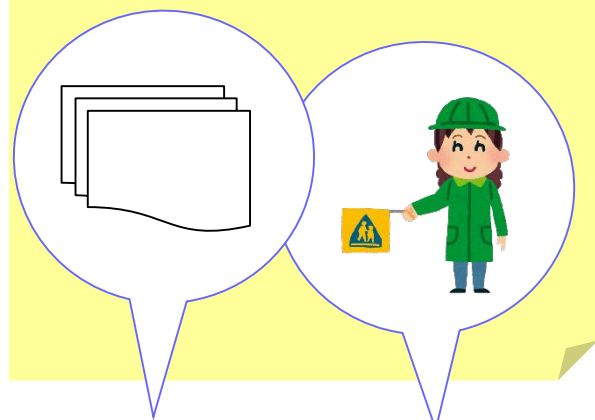
※ 完成した年表は、施設周辺のみなさんのご要望・ご意見として、今後の施設整備計画の検討に使用いたします。

2-2.【宿題】 課題への対応方法の検討

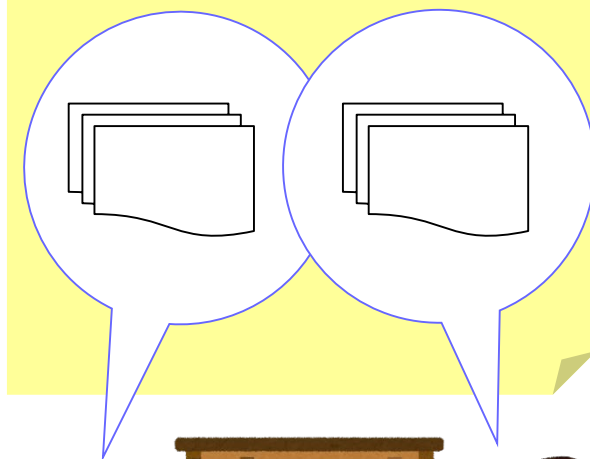
<課題への対応方法の検討【宿題】 イメージ>

- ・・・STEP 1 ②でまとめた「アクションプランを検討すべき課題」について、どのように対応するのが良いか、チーム内で課題ごとに担当者を決め（全員がいずれかの課題を担当します。）、各自でイメージ（写真、雑誌等の記事、パンフレット等）や情報（書籍、インターネットウェブサイトをプリントアウトしたもの等）を収集してください。

「通学路の安全性確保」



「騒音防止等環境への対策」



「公園や運動施設等、地域の憩いの場」





2-3. STEP.2 施設周辺整備方針・要望の具体化

<課題へのアクションプランの作成 イメージ>

・・・収集したイメージ写真や情報を持ち寄り、チーム内で発表しあうことで情報共有し、STEP 1 で決めたテーマにどのように対応したいのか、要望をより具現化したかたちで「アクションプランを検討すべき課題」ごとに1枚の模造紙にまとめます。

最後に、チームごとにアクションプランを発表し、参加者全員で共有します。

「騒音防止等環境への対策」アクションプラン

.....	
	



※ 完成したシートは、施設周辺のみなさんのご要望・ご意見として、今後の施設整備計画の検討に使用いたします。

2-5. 第1回ワークショップ タイムスケジュールのイメージ

<ワークショップの進め方（予定）>

ワークショップ（平成26年10月18日（土）18:00～21:00）

第1回 次 第

1. 事務局からの事前説明	40分程度
休 憩	5分程度
2. グループワーク（前半）	55分程度
休 憩	10分程度
3. グループワーク（後半）	40分程度
4. グループ発表	15分程度
5. まとめ・宿題の説明	15分程度

2-5. 第2回ワークショップ タイムスケジュールのイメージ

＜ワークショップの進め方（予定）＞

ワークショップ（平成26年11月1日（土）18:00～21:00）

第2回 次 第

1. 前回のフィードバック・作業の進め方説明	25分程度
2. グループワーク（グループ内発表）	30分程度
3. 休憩	5分程度
4. グループワーク	40分程度
休憩	10分程度
5. グループワーク	20分程度
6. グループ発表	30分程度
7. まとめ	20分程度